



# 次代を創る

Create the Next Generation

中塚周一県政ジャーナル

ブリッジ — 地域と県政を結ぶ架け橋 —

# BRIDGE

第12号  
2019.2

中塚周一事務所  
〒713-8125 倉敷市玉島勇崎1044-4  
発行 TEL 086-528-0319  
印刷 株式会社玉島活版所

## ごあいさつ

このたび中塚周一県政報告誌BRIDGE(ブリッジ)第12号を発売させていただきました。

さて、議員3期目の任期も僅かとなりましたが、これまで県議会の委員長職を6回務めさせていただき、地域の皆様や各種団体の方々との意見交換や現場視察などで見聞きした中からの課題をもとに県行政へ提言してまいりました。本誌において、その活動の一端を掲載させていただいており、議会活動の様子を少しでも知っていただければ幸いです。

いよいよ平成31年4月には改選を迎え、4期目の挑戦をします。中堅議員として、さらに活動の幅を広げていきたいと考えております。今後とも皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

岡山県議会議員 中塚周一



# Create the Next Generation

### 走り続ける中塚周一

## 次代の岡山をつくるために

### 委員会視察



#### 環境文化保健福祉委員会 県外調査(平成30年10月)

平成30年7月豪雨災害を受けて、被災者支援、災害廃棄物処理などの災害対応についての調査のため福岡県と熊本県を訪問。

福岡県では、平成29年7月に発生した九州北部豪雨への対応検証について、熊本県では、平成28年4月に発生した熊本地震における対応と復興状況について訊きました。

両県には、発災直後から被災者への支援や災害廃棄物処理などについて、様々な助言や支援をいただいているところであり、岡山県の災害復旧・復興に向けて、大いに参考になりました。



説明を受けた熊本県益城町役場と議会場は、未だプレハブの建物で、対面には多くの仮設住宅がある。

#### 環境文化保健福祉委員会 県内調査

##### 「岡山大学・津山中央病院共同運用 がん陽子線治療センター」(津山)

中四国エリア初のがん陽子線治療拠点として開設され、患者の安心感と地域の医療水準の向上に貢献しています。

センターの概要について説明を受ける



##### 「作州絁工芸館」(津山)

岡山県の誇る郷土伝統的の工芸品である手織り作州絁を存続させるとともに、広く周知、愛用していただくための取り組みをしています。

実際に織っている方から話を伺う

#### 教育再生・子ども応援特別委員会 調査

##### 「おかやま出会い・結婚サポートセンター」(津山)

結婚を希望する若者を支援する拠点として「おかやま出会い・結婚サポートセンター」を岡山・倉敷・津山へ設置し、結婚を希望する若者の希望をかなえる環境づくりを推進しています。



縁結びネットの操作を試行

##### 「子どもの権利支援センターぱれっと」(富山県)

いじめや不登校などでつらい思いをしている子どものサポート、子育て不安や児童虐待などで悩む家族の支援、親子の豊かなかかわりをはぐくむ野外活動など、子どもの権利と健全な成長を応援されています。



取り組みの説明を聞き、活動内容を閲覧

教育再生・子ども応援特別委員会では、この他にも県内の小学校や高校での学力向上の取り組みや学習改善のための研究開発事業などの調査、また、他県での結婚・子育て支援や発達障害者支援などの調査を行いました。

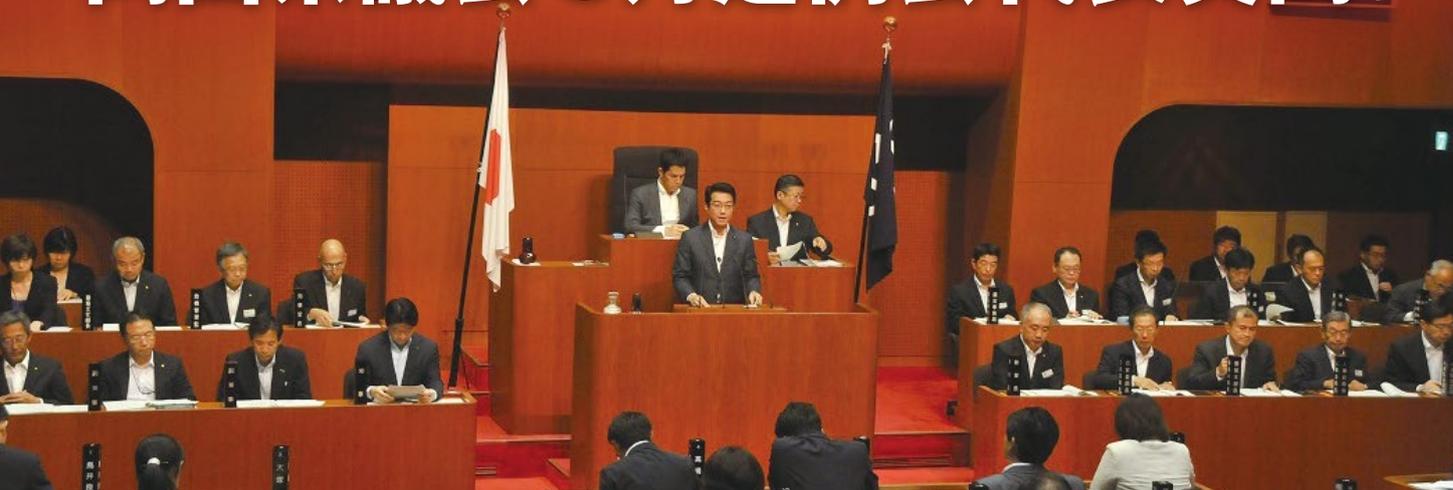
##### 「津山圏域クリーンセンター」(津山)

廃棄物の循環的利用のモデル施設として整備され、熱回収施設は、従来のようにごみを焼却処分するだけでなく、ごみを焼却する際に発生する熱エネルギーを電気に換える発電施設となっています。

施設見学コースだけでなく、環境学習やリユースコーナーも整備されている



# 岡山県議会 9月定例会代表質問



平成30年9月議会で自民党を代表して質問に立ちました。

## 平成30年7月豪雨の災害対応について

### 被災者の生活再建支援

医療や福祉の支援が必要な要配慮者については、被災後も、健康状態の悪化等により生活再建に支障が生じないよう平時に近い専門的支援が受けられることが必要だ。

市町村では、医療・福祉面での配慮が必要な方に対して、個別訪問により現状を把握し、医療・介護サービスが適切に提供されるよう、関係支援機関へ繋いでいる。

市町村の活動が円滑に進むよう、専門職やアドバイザーを派遣するとともに、心のケアが必要な被災者等への電話や訪問による個別相談などを実施する。

### 災害廃棄物の処理

災害廃棄物は量が膨大な倉敷市・総社市については、県が事務委託を受け、処理の主体となる市町村をしっかりと支援してほしいが、今後どう取り組むのか。

倉敷市及び総社市については、中間処理施設を整備し、破碎・選別等の処理を進め、災害廃棄物の円滑かつ迅速な処理を推進してまいりたい。

### 公共土木施設等の災害復旧等

公共土木施設の災害復旧事業として、補正予算を有効性のあるものとするには、地域の実情に配慮しな

がら、着実に実施することが必要だ。また、必要に応じて、原形復旧ではなく、再度災害が起こらないよう今後にも備えた対応も必要だ。

災害復旧事業を迅速かつ着実に実施するため、災害復旧工事等を対象として、指名競争入札の拡大や、主任技術者等の兼務要件の緩和を行った。

また、復旧にあたっては、原形復旧だけでなく、築堤や河床掘削などの改良復旧にも取り組む。

今後の見通しについてですが、原形復旧する箇所については、平成31年度までに大半の箇所を完了する予定であり、改良復旧する箇所については、概ね5年程度かかるものと見込んでおりますが、できるだけ早期に完了できるよう、しっかりと取り組んでまいりたい。

今回の豪雨では、27の水位観測所で氾濫危険水位を超え、広範囲で浸水被害が発生した。県民の生命や財産を守るためには、今回の災害発生状況を踏まえた治水・土砂災害対策が必要だ。今後、どのように取り組んでいくのか。

流下能力を高める築堤や河床掘削等の河川改修を、より一層進めるとともに、浚渫や樹木伐採等に積極的に取り組む必要があると考えており、砂防堰堤や擁壁の整備など、土砂災害対策を、より重点的に進めていく必要がある。

国に対し、十分な予算の確保・配分を強く働きかけ、治水・土砂災害対策に全力で取り組んでまいりたい。

## 質問項目

### 1 平成30年7月豪雨の災害対応について

- ・市町村との連携・検証等
- ・被災者の生活再建支援
- ・公共土木施設等の災害復旧等
- ・井原鉄道の復旧支援
- ・商工業等への支援
- ・県警察の対応
- ・災害廃棄物の処理
- ・病院等の早期復旧

### 2 災害対応予算等について

- ・全体予算規模等
- ・今後の財政運営

### 3 所有者不明土地について

### 4 児童虐待防止対策について

### 5 保育士のキャリアアップ研修について

### 6 発達障害のある人の支援について

### 7 国道2号岡山バイパスの総合的な渋滞対策について

### 8 学力向上の取組について

※詳細については岡山県議会ホームページからご覧頂くことができます。  
<http://www.pref.okayama.jp/site/gikai/>



## 病院や社会福祉施設等の早期復旧

浸水等の被害を受けた病院や診療所に甚大な被害が生じている。地域のかかりつけ医として住民の生活に根ざしている医療機関の早期再開、また、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で、自立した日常生活を営むためには、社会福祉施設の復旧も急務だ。

住み慣れた地域で、必要な医療や介護サービス等を受けられる環境を速やかに回復させることが、被災地を復興する上で大変重要であり、医療機関や社会福祉施設の復旧に必要な予算を早期に確保するとともに、関係団体と緊密に連携しながら、きめ細かい相談対応や迅速な事務手続に努め、早期復旧を目指してまいります。

## 所有者不明土地について

所有者不明土地を有効利用するための特別措置法が成立し、公益性のある事業での利用ができることなどが盛り込まれた。公益性のある事業での活用等はどう取り組むのか。

県は、申請のあった事業の公益性の確認など、使用権の設定に係る事務を行うことから、今後、国が整備する予定のガイドライン等を踏まえ、市町村や関係事業者にも制度を周知するとともに、県が実施する事業での活用についても、使用可能な期間に上限があることなどの課題を考慮した上で、検討してまいります。

## 保育士のキャリアアップ研修について

保育士のキャリアアップ研修は、職務内容に応じた専門性の向上を図るため平成29年度からスタートした。県は、研修実施計画で、平成33年度までに延べ対象者8,800人の受講を想定しており、研修の実施にどう取り組むのか。

保育士養成課程を持つ大学と協力して、研修の質を高めるとともに、受講者の業務の都合に配慮し、会場や日程を複数設定しているほか、数年に分けて受講しても研修修了を認めるなど、受講しやすい研修環境の確保に努めております。

引き続き、研修の質の向上や研修機会の確保を図り、保育士のキャリアアップが進むよう取り組んでまいります。



# 自民党 岡山県連青年局長として

## 意見交換

自民党岡山県連の青年局長を拝命して2年目。局長として、様々な業種の若い世代の意見を聴く機会を積極的に作っていききたいとの思いを柱に活動してきました。

商工会青年部、旅館ホテル生活衛生同業組合青年部、郵便局長会若手委員会などや時には女性局とともに看護連盟青年部や農業女子の皆様と意見交換会を実施してきました。



農業女子の皆さんと



看護連盟青年部との懇談会

## 街頭活動

自民党青年局では、全国一斉街頭活動も行っています。昨年は、「18歳選挙権」「北朝鮮による拉致問題の解決」「憲法改正」などのテーマで活動しました。



岡山駅前での街頭活動

## 研修事業

青年局役員、幹事で国会傍聴(衆議院側は橋本 岳 先生に、参議院側は小野田紀美 先生にご案内いただきました)や加藤厚労大臣(当時)との懇談、日本科学未来館の視察など中央研修会を実施。

青年局には学生部があり、加藤勝信厚労大臣(当時)を講師に勉強会を開催。



加藤勝信 厚労大臣(当時)との懇談会



学生も熱心に聴講し質問していました

# TV 番組出演

## OHK「岡山県議会ナビ～輝く未来! 教育県岡山の復活へ～」 2017年12月放送

「教育県 岡山の復活」は、県の重点戦略の1番目に掲げられています。「地域(社会)を支える人づくり」が教育施策を進める大切な目標だと思います。その為、就学前からの連続した教育体制、規範意識や自尊感情を高めるといった道徳教育、科学的思考力や自主性を養う科学技術教育の推進、自分の国を語ることができ日本人としてのアイデンティティを有するグローバル人材の育成などをお話させていただきました。



## TSC「みんなの岡山県議会～9月定例県議会を終わって～」 2018年10月放送



平成30年7月豪雨災害後の最初の定例会となった9月議会は、災害の状況、復旧・復興に向けた道筋などを中心に議論されました。自民党代表質問者として登壇させていただいた私からは、「河川、堤防などの公共土木施設の災害復旧」や「早期復旧に向けた入札や業務要件の緩和策」、「ダム管理連絡会議などの改善」などについてお話しさせていただきました。

## 西日本豪雨災害チャリティ 第11回 中塚周一杯ゴルフ大会

平成30年10月3日、中塚周一杯ゴルフ大会を開催しました。今年の大会は、7月の豪雨災害被災地支援チャリティ大会として実行委員会が企画。160名を超える参加者から約12万円の義援金が集まり、表彰式の冒頭に宮尾実行委員長より、倉敷市社会福祉協議会の虫明会長へ寄託させていただきました。



▲義援金寄贈

